

資 料

資料 1. 平成 21 年稚内観光客アンケート調査

(1) 調査の目的等

(2) 調査の概要

稚内市を訪れる観光客を対象に満足度に関するアンケート調査を実施した。調査の実施方法は、以下のとおりである。

- a) 調査の実施時期：平成 21 年 8 月 1 日（土）～ 2 日（日）
- b) 調査の実施方法：稚内観光の主要観光ポイントである宗谷岬、ノシャップ岬、稚内公園にて、調査員を配置し、ヒアリング形式によるアンケート調査を実施している。
- c) 調査の対象：ツアー観光客を除く個人客

(3) 調査結果

本調査では、稚内市を訪れる観光客を対象に稚内市の観光に関するアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施にあたっては、稚内を訪れる目的やニーズがより明確な個人客（ここでは、ツアー観光客以外を意味する）を対象とした。また、個人客の行動やニーズを踏まえた観光振興を推進することは、パッケージツアー客の増加に繋がることにもなる。

なお、アンケート調査は、宗谷岬、ノシャップ岬、稚内公園を訪れた観光客に対して、ヒアリング形式で行っている。

①アンケート調査の項目について

アンケート調査の項目は、以下のとおりである。

NO.	項目	設定の視点
1	稚内を訪れたきっかけ	稚内を目的をもって訪れたかどうか（他の観光地に行くついでに寄ったかどうか）の確認
2	主な利用交通機関	稚内までの利用交通機関と稚内での利用交通機関の把握
3	滞在・宿泊数	稚内での滞在日数及び稚内での宿泊数の把握
4	本日の出発地と最終訪問地（宿泊地）	稚内の主要観光地を訪れる際の行動把握
5	宿泊予約の方法	個人客の主たる宿泊予約の方法を把握
6	自然景観の感想	稚内の主要観光地の自然景観についての評価を把握
7	周辺の観光開発・施設・店舗等に対する評価	稚内の主要観光地の周辺施設、演出等が当該自然景観と調和しているかどうかの評

		価把握
8	今回の訪問観光ポイント	稚内で訪れた観光ポイントの把握
9	稚内、道北でイメージされるもの	稚内に対してどのようなイメージ、印象をもっているかを把握
10	稚内の観光パンフレットについて	稚内で発行されているパンフレットが観光客にとって役立っているかどうかの把握
11	役立ったパンフレットの名称	役立ったパンフレットが稚内で作成されたものかどうかを把握するとともに、どのようなパンフレットが役立ったと思っているのかを把握
12	無線 LAN を使用できる機器の携帯状況	本設問は、今後の稚内の観光振興において情報ツールの整備方法として公共無線 LAN が重要と位置づけていることから、本システムに対する観光客の意向を把握するために設定。
13	無線 LAN が使用できる環境が整備された場合の利用意向	
14	今回の旅行行程における稚内市内での観光消費額	稚内市内でどのようなサービス、「もの」に対して消費が発生しているかの把握
15	属性	回答者の性別、年齢、出発地等の属性把握
16	稚内観光に対する感想、意見	稚内の観光に対する観光客の率直な意見を把握
17	立ち寄り観光ポイント	設問8と同様であるが、設問8では、メインとして考えられている観光ポイントが把握されることに対し、本設問では、立ち寄ったポイントをより多く把握することが目的

②アンケート調査回収結果

本調査は、平成21年8月1日（土）～2日（日）にかけて実施し、514票の回答を得ている。

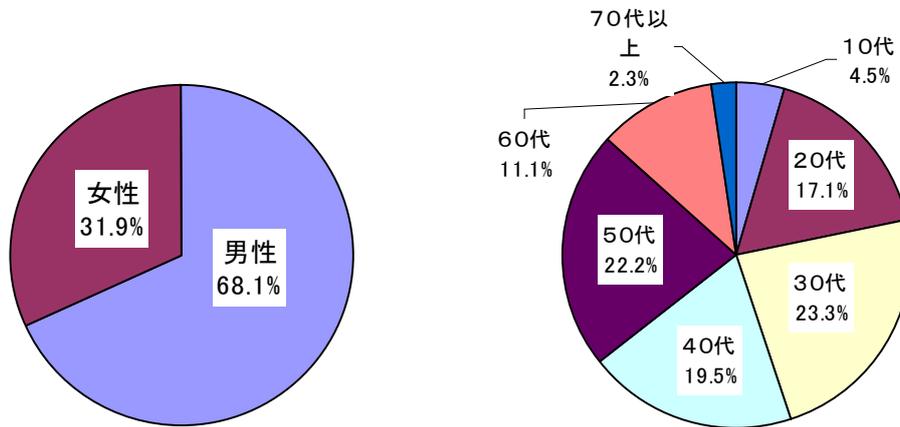
③アンケート調査の結果

1) 回答者の属性について

・性別、年齢

本調査の回答者は、約7割が男性で、3割が女性であった。また、年齢構成は、30歳代が最も多いが、概ね20歳代から50歳代まで2割程度であった。

アンケート回答者の性別及び年齢構成



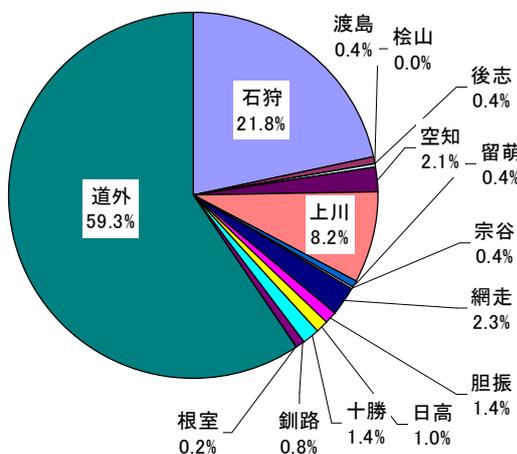
・居住地

回答者の居住地構成は、道外居住者が約 6 割、道内居住者が 4 割となっている。

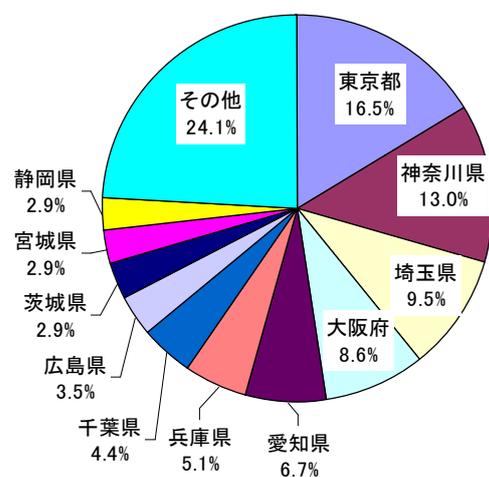
このうち、道内居住者では、石狩支庁管内居住者が最も多く、ついで、上川支庁、網走支庁、空知支庁の順となっており、札幌市を含む石狩支庁管内居住者以外では、近隣支庁居住者が多くなっている。

一方、道外居住者は、東京都が最も多く、ついで、神奈川県、埼玉県、大阪府、愛知県、兵庫県、千葉県順となっており、夏季に限定就航している中部空港便及び関西空港便の影響により愛知県や関西からの訪問客が比較的多い。

回答者の居住地構成

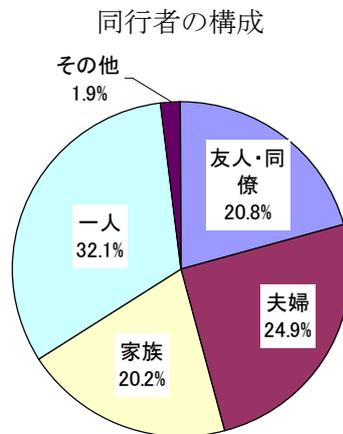


道外居住者の県別構成



・同行者

同行者をみると一人が最も多く 32.1%となっており、ついで、夫婦、友人・同僚、家族の順となっている。



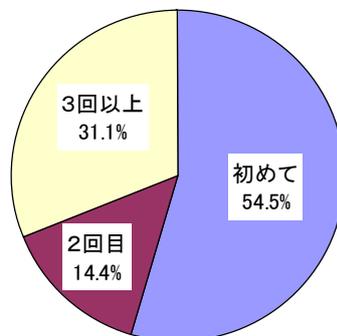
・訪問回数

稚内への訪問回数についてみると、半数以上が、初めてとしているが、2回以上のリピーターの割合も多い。

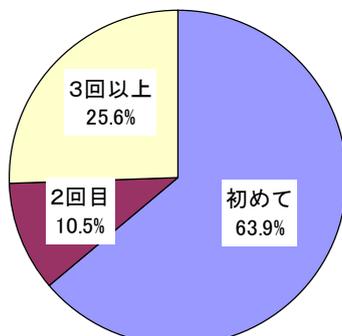
道外、道内客別にみると、道外客では初めての割合が6割以上となっている。道内客は、逆に2回以上の割合が6割近くとなっている。

稚内への訪問回数

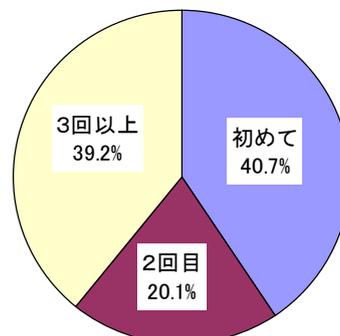
(全体 : n=504)



(道外客 : n=305)



(道内客 : n=209)



2) 稚内市を訪れたきっかけ

稚内を訪れたきっかけについてみると、「稚内という土地に来たかったから」が最も多く、「稚内以外の観光地へのついで」や「仕事のついで」、「どらいぶがてら」といった回答割合が低いことから、稚内を明確に目的地として訪れている状況が把握された。

道外、道内客別にみると、道外客の方が「稚内という土地に来たかったから」、「特に訪れたい場所が稚内にあったから」、「稚内に食べたい物・買いたい物があったから」のいずれの回答率とも高くなっており、稚内を目的地とする意識が高い状況となっている。

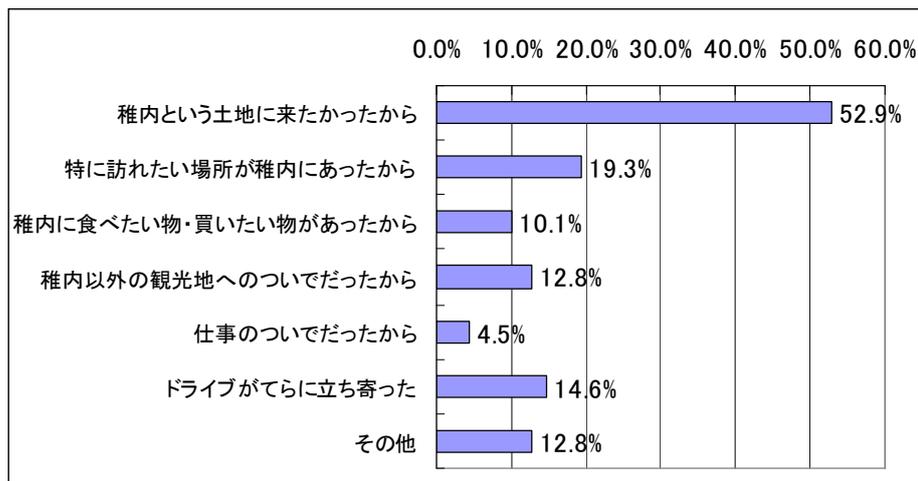
「特に訪れたい場所が稚内にあったから」との回答の具体的場所についてみると、宗谷岬が最も多く、ついでノシャップ岬、宗谷丘陵の順となっているが、圧倒的に宗谷岬が多くなっている。

「稚内に食べたい物・買いたい物があったから」の具体的内容をみると、ウニ・ウニ丼が多い。また、「稚内以外の観光地へのついで」とする回答の具体的場所は、ほとんどが利尻・礼文となっている。

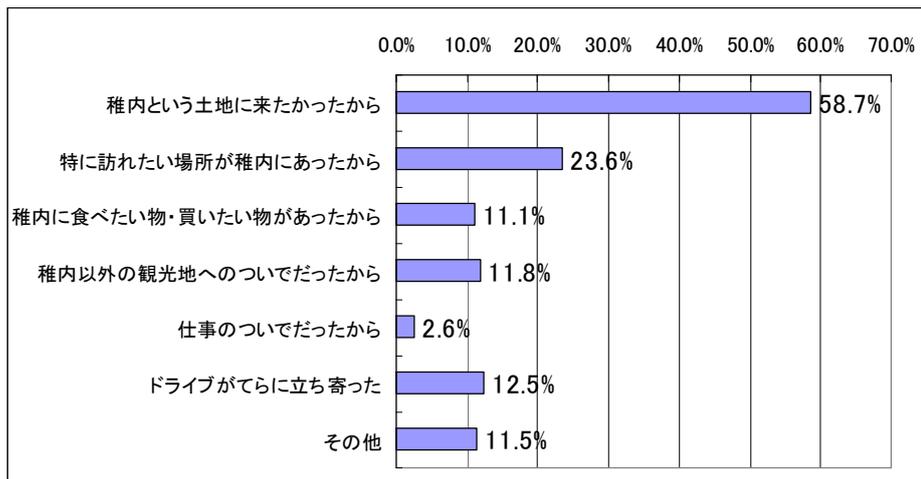
稚内を訪れた理由が「その他」の回答の具体的内容としては、「北海道一周、日本縦断等」が最も多くなっている。

稚内を訪れたきっかけ

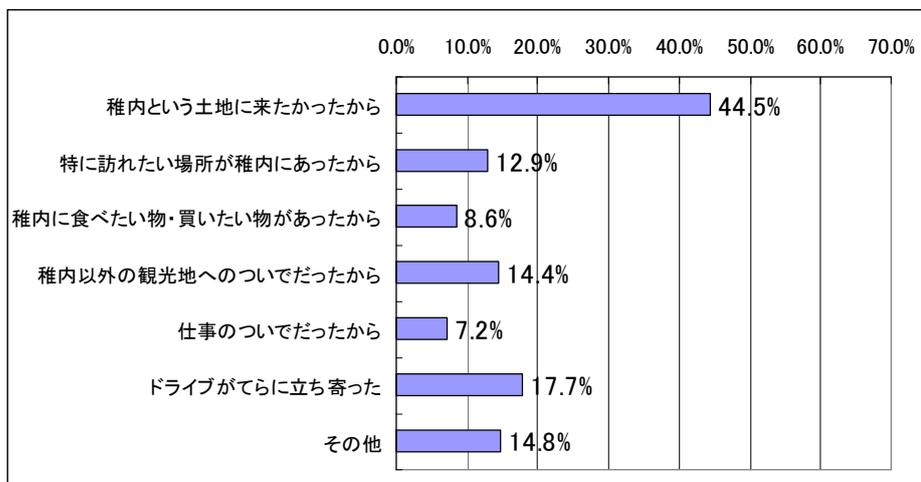
(全体：複数回答、514人に対する回答者率)



(道外客：複数回答、305 人に対する回答者率)



(道内客：複数回答、209 人に対する回答者率)



「稚内で特に訪れたい場所」の内容

場所	人数
宗谷岬	47
ノシャップ岬	13
宗谷丘陵	4
稚内公園	3
ゴルフ場	3
稚内森林公園	1
大沼	1
稚内駅	1
稚内空港付近の国道	1
旅人村	1
バイクステーション稚内	1
ライダーハウス漁師の店	1
小計	77
無回答	22
合計	99

「稚内で特に食べたい物、買いたい物」の内容

食べたい物・買いたい物	人数
ウニ、ウニ丼	21
イクラ、イクラ丼	3
海鮮物	3
カニ	4
鮭	1
キャンプ食材	1
じゃがぼっくる	1
タコカレー	1
食べ処さるぼぼ	1
小計	36
無回答	16
合計	52

「稚内以外の観光地へのついで」の場合の主たる観光目的地

稚内以外の観光地	人数
利尻、礼文	34
オロロンライン	1
浜頓別町	1
函館市	1
登別市	1
小計	38
無回答	28
合計	66

「その他」の理由の内容

その他の理由	人数
道内一周、日本縦断などの途中で立ち寄り（※1）	11
友人の見送り	9
利尻山登山、利尻・礼文観光の拠点（※2）	6
大学見学	4
稚内みなとな南極まつり	3
友人がいる	3
帰省	3
わからない観光物産まつり	1
約50年前に当地で働いていた	1
父が単身赴任	1
取材	1
サハリンを見たくて	1
昨年来たが雨だったので再訪	1
最北端を目指したから	1
ゴルフ	1
急に行くことを思い立った	1
家族旅行	1
思い出づくり	1
訪れたことがないから	1
お寺参りのついて	1
小計	52
無回答	14
合計	66

※1 道内一周、日本縦断のスタート地点、日本一周、ツーリングをまとめた。

※2 利尻山登山、利尻・礼文観光をまとめた。

3) 主な利用交通機関

稚内までの利用交通機関についてみると、全体では、自家用車が最も多く、43.6%を占める。ついで、バイク、航空機、鉄道、レンタカーとなっており、道路交通の利用者が約8割を占める（77.9%）。

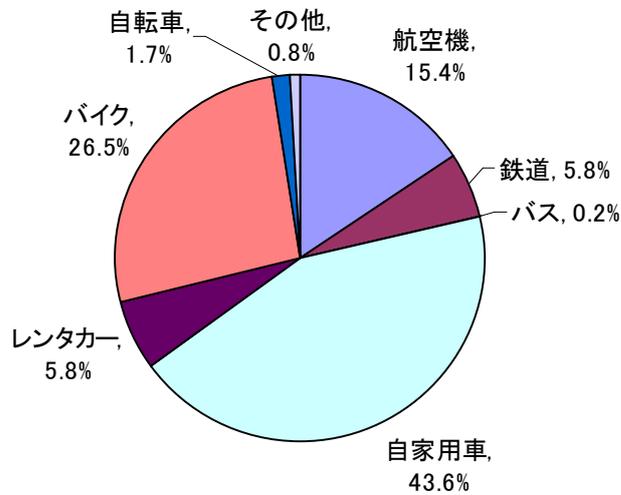
道外、道内客別にみると、道外客では、バイクが最も多く32.2%となっており、ついで、自家用車、航空機、レンタカーの順、道内客では、自家用車が67.3%を占め、ついで、バイク、鉄道、航空機の順となっている。

このように、道外客も自宅からバイクや自家用車を利用して訪れる観光客が多くなっている。

また、観光ポイントまでの利用交通機関についてみると、稚内までの利用交通機関を反映して、自家用車、バイクが多くなっているほか、稚内まで航空機や鉄道を利用してきた観光客のレンタカーが加わり、レンタカー利用者も多くなっている。

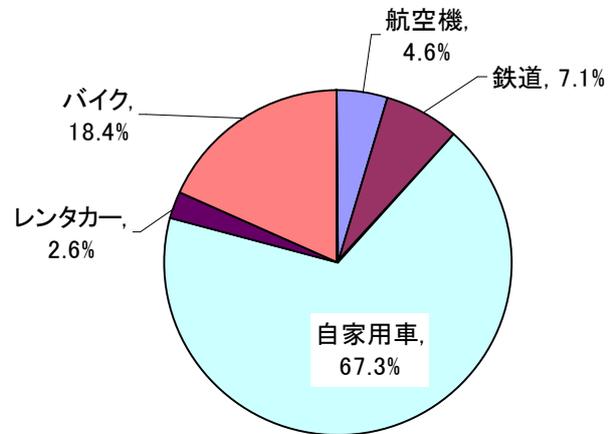
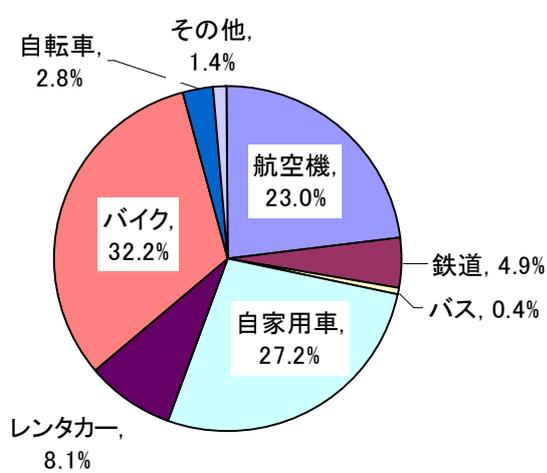
稚内までの利用交通機関

(全体：n= 479 (不明を除く))

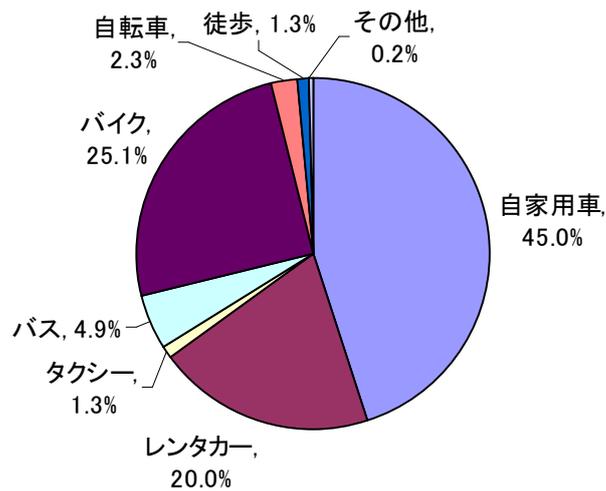


(道外客：n=283 (不明を除く))

(道内客：n=196 (不明を除く))



観光ポイントまでの利用交通機関 (n=471 (不明を除く))



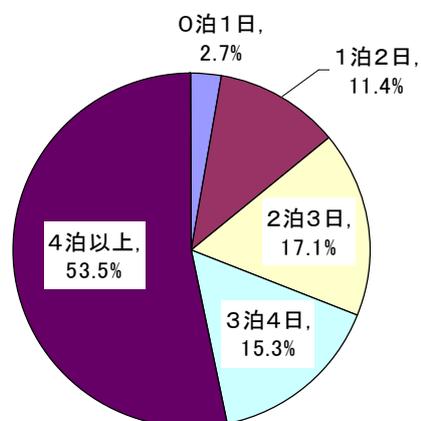
4) 旅行日数

稚内を訪れた観光客の北海道での旅行日数についてみると、全体では4泊以上が最も多く、ついで2泊3日、3泊4日の順となっている。道外、道内客別にみると、道外客では4泊以上の割合が7割を超え、3泊4日を含めると9割近い割合となっている。道内客では、1泊2日の旅行が最も多く、ついで2泊3日となっている。

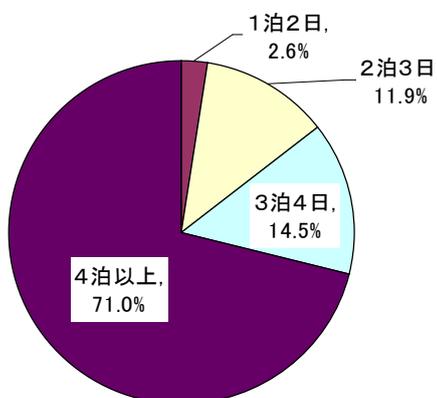
こうした旅行行程において稚内での滞在日数についてみると、日帰りもしくは立寄り客の割合が4割以上で最も多くなっているが、逆に稚内で宿泊する観光客の割合が5割以上となっている。

道外、道内客別にみると、ほぼ同様の傾向がみられるが、稚内で複数泊する割合は同外客の方が高くなっている。

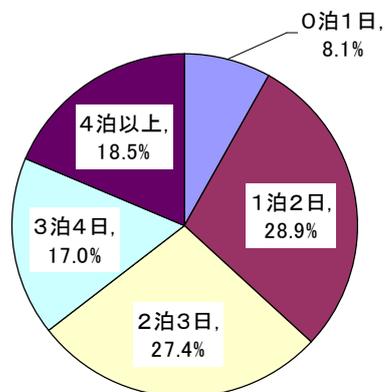
北海道での滞在日数
(全体：n=404 (不明を除く))



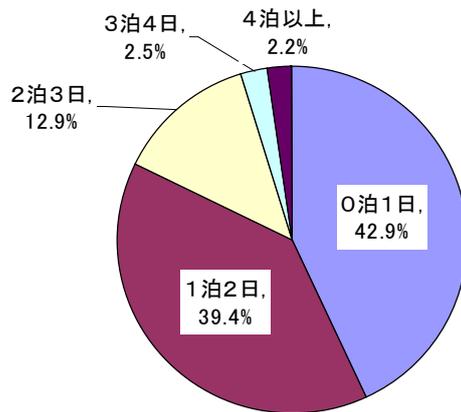
(道外客：n=269 (不明を除く))



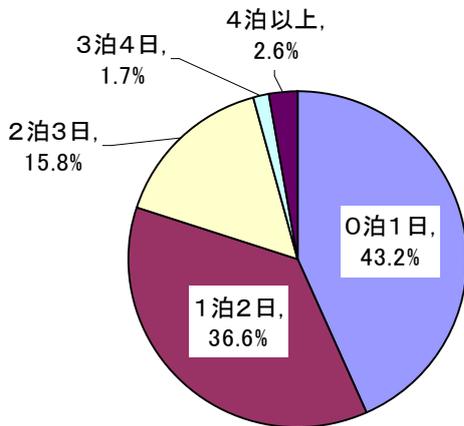
(道内客：n=135 (不明を除く))



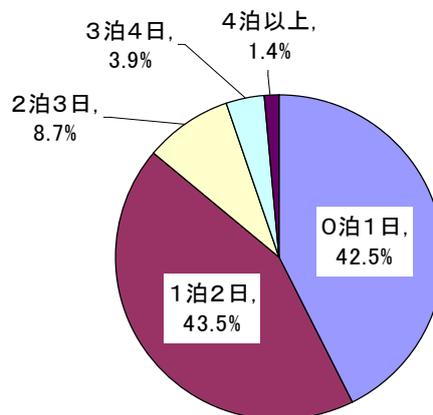
稚内市での滞在日数
(全体:n=510 (不明を除く))



(道外客 : n=303 (不明を除く))



(道内客 : n=207 (不明を除く))



5) 当日の出発地と当日の最終目的地

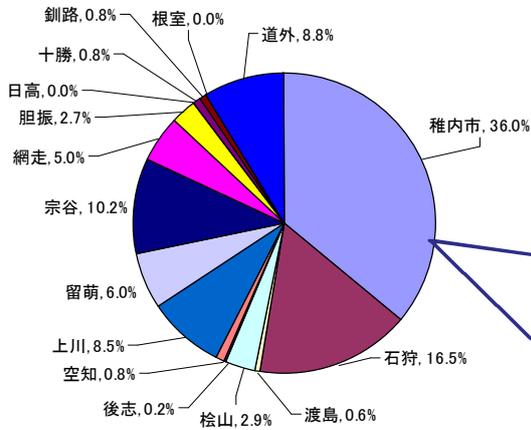
調査当日の観光客の出発地についてみると、稚内発とする観光客の割合が最も高く、36.0%を占めている。ついで、石狩支庁管内、宗谷支庁管内、上川支庁管内、道外の順となっている。また、当日稚内発とする観光客の当日の目的地についてみると、その日も稚内泊とする観光客の割合が30%と最も多く、ついで上川支庁管内、網走支庁管内、石狩支庁管内、道外の順となっている。

一方、当日の目的地についてみると、稚内とする割合が34.6%と最も多く、ついで、上川支庁管内、宗谷支庁管内、石狩支庁管内、網走支庁管内の順となっている。当日、稚内で宿泊する観光客のその日の出発地についてみると、石狩支庁管内、道外が多く、ついで網走支庁管内となっている。

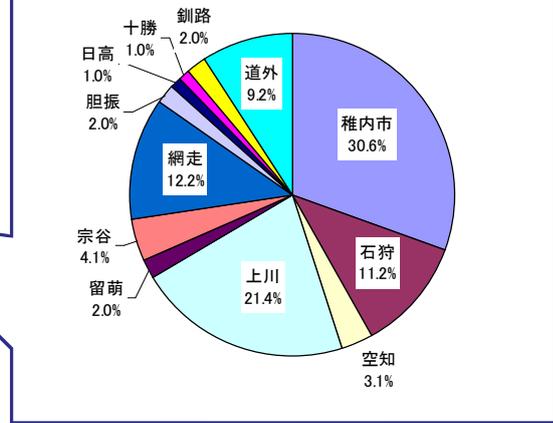
このように、先の稚内での滞在日数でも把握されたように、稚内で宿泊する観光客の割合が高い状況となっていることに加え、観光客の居住地構成から稚内を訪れる観光客は、道外客であれば直接稚内に入る、あるいは札幌等の石狩支庁管内を経由して稚内に入るパターン、道内客であれば居住地から直接稚内

に入るパターンが多く、その後、道外客では、上川、網走方面に移動するパターン、道内客では帰宅するというパターンが多い状況となっている。

当日の出発地

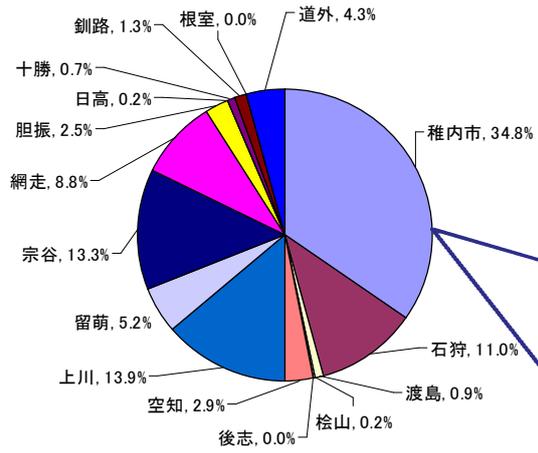


当日稚内発の観光客のその日の目的地（宿泊地）

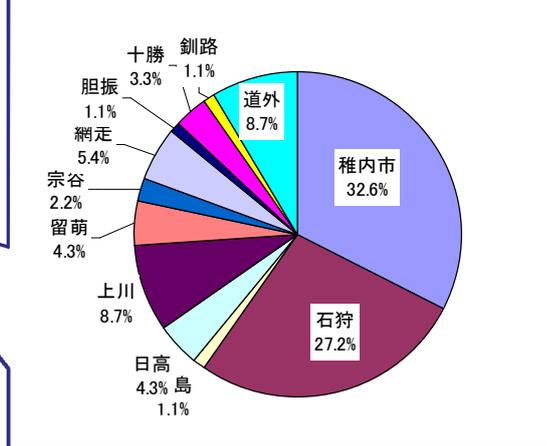


注：n=480（不明を除く）

当日の目的地（宿泊地）



当日稚内泊の観光客のその日の出発地



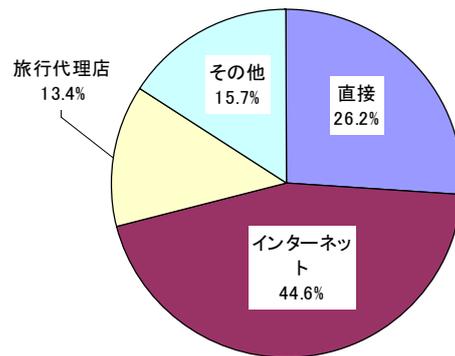
注：n=445（不明を除く）

6) 宿泊予約の方法

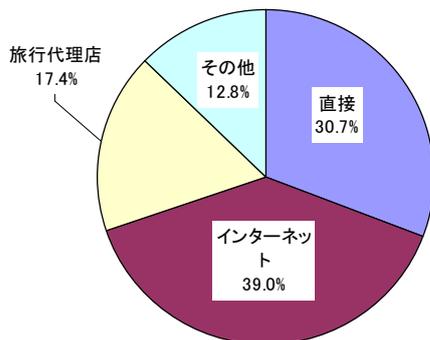
稚内市内の宿泊施設を利用した観光客の予約方法についてみると、インターネットによる予約が最も多く、ついで電話等による直接予約となっており、個人客の多くが旅行代理店を通さず、本人が直接予約する方法をとっている状況となっている。

道外、道内客別にみると、インターネットによる予約は道内客の方が多く、道外客はインターネットによる方法が多いものの、道内客と比較して直接予約あるいは旅行代理店を通しての予約の割合が高くなっている。

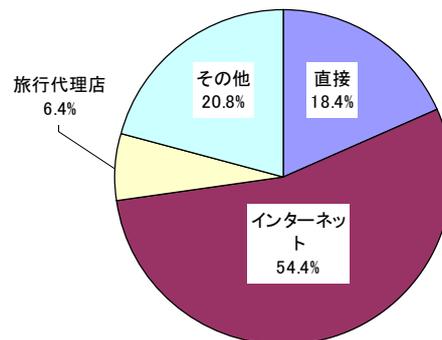
宿泊予約の方法
(全体 n=343 (宿泊しないを除く))



(道外客 : n=218 (宿泊しないを除く))



(道内客 : n=125 (宿泊しないを除く))



7) 自然景観の感想

本調査では、アンケート調査を実施したノシャップ岬、稚内公園、宗谷岬の各観光ポイントにおける自然景観に対する感想を自由回答方式で回答してもらっている。

調査を実施した8月1日～2日にかけては、天候は曇一時霧雨(1日)、曇り一時雨(2日)(気象庁)で、平均気温も1日が17.6℃、2日が15.6℃となっており、肌寒い気候であったことや、利尻富士も時間帯によっては見えない状態であったことなどから、「寒い」といった天候に対する不満感からマイナス評価

をしている回答も比較的多くみられている。しかし、自然景観に対する評価は、総じてプラスの評価が多い。

記載内容からキーワードを抜き出し、そのキーワードから大きく評価の対象、景観の印象、体感の印象、その他に分類して集計した結果から、各調査ポイント別の評価をみると、ノシャップ岬では、評価の対象としては「海・海岸線・岬」や「利尻富士」があげられており、景観の印象としては、「きれい・素晴らしい」、「広い・雄大」といった印象の回答が比較的多かった。

宗谷岬は、評価の対象としては「最北端・最果て」、「丘陵・氷河地形・草原」があげられており、景観の印象としては、「きれい・素晴らしい」、「広い・雄大」、「手つかずの自然」といった印象の回答が多かった。

稚内公園は、評価の対象としては「海・海岸線・岬」、「施設」があげられており、高台からの海の眺望や公園内のオブジェなどが印象に残っている様子が見える。

観光ポイントの自然景観に対する評価

	印象 [好感度]			当日の 天候への 不満	回答数
	プラス	マイナ ス	その他		
合計	385 81.1%	87 18.3%	3 0.6%	66 13.9%	475
ノシャップ岬	114 81.4%	26 18.6%	0 0.0%	36 25.7%	140
宗谷岬	203 76.9%	58 22.0%	3 1.1%	48 18.2%	264
稚内公園	68 95.8%	3 4.2%	0 0.0%	25 35.2%	71

観光ポイントの自然景観に対する評価（キーワード集計）

	key word																								
	対象の特定					景観印象					体感印象					その他									
	海・海岸線・岬	草原・丘陵・氷河地形・	緑・花	最北端・最果て	利尻富士・利尻島	サハリン	サロベツ原野	施設	食べ物	広い・雄大	きれい・素晴らしい	手つかずの自然	れと北海道らしい・日本離れ	寂しい・荒涼感・	寒い	暖かい	爽やか	強い風・冷たい風	ゆったり	ドライブ・道路	沿道景観	開放的・明るい	イメージとの	静か	空気がいい
合計	26 5.5%	15 3.2%	7 1.5%	27 5.7%	14 2.9%	5 1.1%	5 1.1%	11 2.3%	5 1.1%	36 7.6%	121 25.5%	27 5.7%	11 2.3%	8 1.7%	74 15.6%	2 0.4%	6 1.3%	30 6.3%	2 0.4%	5 1.1%	2 0.4%	2 0.4%	5 1.1%	4 0.8%	2 0.4%
ノシャップ岬	15 10.7%	0 0.0%	7 5.0%	5 3.6%	12 8.6%	2 1.4%	5 3.6%	3 2.1%	3 2.1%	18 12.9%	36 25.7%	10 7.1%	3 2.1%	0 0.0%	21 15.0%	2 1.4%	2 1.4%	7 5.0%	2 1.4%	2 1.4%	2 1.4%	0 0.0%	2 1.4%	2 1.4%	0 0.0%
宗谷岬	3 1.1%	13 4.9%	0 0.0%	20 7.6%	2 0.8%	3 1.1%	0 0.0%	3 1.1%	2 0.8%	15 5.7%	59 22.3%	15 5.7%	8 3.0%	8 3.0%	51 19.3%	0 0.0%	2 0.8%	18 6.8%	0 0.0%	3 1.1%	0 0.0%	2 0.8%	3 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
稚内公園	8 11.3%	2 2.8%	0 0.0%	2 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 7.0%	0 0.0%	3 4.2%	26 36.6%	2 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.8%	0 0.0%	2 2.8%	5 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.8%	2 2.8%

主な感想

ノシャップ岬	宗谷岬
海の景色が素晴らしい。晴れていればもっと違って見えははず。	30年前と変わらない自然の稚内でした。
海鮮料理が市内共におしくなかった。	6回目。宗谷丘陵を見るべき。
風が強い。海は美しい。	いい所。
風が強く寒い。	美しい。ずっと大事にして欲しい。
きれいです。	海が広くて良かった。晴れの時を見てみたかった。
曇りだがきれい。	音楽はいらない。宗谷丘陵は天気が良ければ北海道一番好き。
曇りで景色は少し残念。天気の良いときにまた来たい。	風が強い。
曇りで残念。次は天気を期待してまた来たい。	風が強く自転車がこげなかった。
曇りで残念。晴れている日に来たかった。	風は強いがそれが逆に最北という感じがする。
曇りで少し残念。雄大な海が素敵。	感激。
曇りなりに楽しい。高知と比して湿度、温度低く最高。来年1月再訪予定のためもうひとつ。	木がなく草原が広がっていて良い。
景色が良い。寒い。	来た価値があった。
原野と利尻島が美しかった。最北端まで来たことを実感した。	北の風が大変気持ち良い。
さいはて感があり、宗谷岬、利尻島より良い。	来てしまった！最北端。
寂しい感じがする。	今日は霧で残念ですが、宗谷丘陵は日本離れた雄大な風景だを思
寂しい感じがする所だが、海沿いのドライブなどは気持ちがよさそう。	今日は天気が悪いが晴れたと素晴らしいでしょう。
サロベツ(原野)、こおほねの家素敵でした。	きれいだと思います。
静かが良い。	きれいですが曇って残念。
自然、景色、北の岬、海岸線	きれいな所です。寒い。
自然が多い。	曇っていて残念。
自然がきれい。晴れていないのが残念。	くもり空で視界が悪かった。晴れていたらきれいだと思う。
自然が残っていて素晴らしい。	曇りで残念。
素晴らしい。	曇りでしたが晴れた時の景色を見たかったです。
高台にあると思っていたノシャップ岬が公園内にあり少しがっかりし	景観が大変良い。
他地域は雨模様だった。当地は初めて来たが暖かくて良かった。	景色が良い。風が強い。
手つかずの自然が素晴らしい。	景色が良い。天気がよければなお良かった。
天候が思わしくなく残念。	荒涼としている。
とにかく寒い。海の食べ物ほうまそうだ。	今年は寒く雨が多いです。
とにかく広い。	最高に良い所です。
波が静か。利尻富士が見えず残念。	最高の景色です。
晴れていたら素晴らしいだろうに…	最北端に来て感動した。
広くて気持ちが良い。晴れてたらもっと良かった。	殺風景な気がする。寒い。
北海道らしい。寒い。天気が悪かった。	サハリンを見れず残念。寒さにびっくり。
緑が鮮やかできれい。	寒い。風は強いが最北端な感じで良い。
緑が多い。天候が思わしくなくサハリンが見えず残念。また来たい。	自然があって良い。天気が良ければもっと良かった。
緑がきれい。モヤで何も見れず残念。	自然に溢れとて癒される。とても寒い。
もう少し風がなく晴れた日に利尻山を見たかった。	周氷河地形が見たかったが大岬旧海軍望楼からははっきり認識でき
夕暮れ(夕焼け?)が見れなく残念。	なかった。
雄大です。天気次第かもしれない。	好きです。
ゆったりとした気分になれる。	ずっと残すこと。
利尻島が見えなかった。	壮大だと思った。
利尻富士がきれいに見えるのが良い。風が冷たい。	宗谷丘陵が最高。
	宗谷丘陵の景色が良かった。晴れてサハリンが見えたらもっと良かつ
	宗谷丘陵は見ごたえがあった。
	宗谷岬は北海道らしくて良い。島が見えず残念。
	大自然を感じられて素晴らしい。
	でっかいどうを感じられて良いです。
	天気が良いと景色が素晴らしいのですが今年は…。
	特にない。風が強く夏にしては寒かった。
	何もないところが良く、何度か来ています。
	日本最北端ではなく北海道最北端に変えて欲しい。北方領土が一番
	北。根室市が怒る。
	初めてでうれしい。
	走りやすい。
	パノラマが素晴らしい。
	晴れたら素晴らしくきれい。感動的。曇りの日は寂しい感じ。
	晴れば良い景色だと思いますが、モヤが多く見渡せる日が少ない
	のが残念です。
	人が多すぎる。
	人の力、手の及んでいない風景が素晴らしい。
	風車が見れて良かった。
	北端の地へ来た実感がある。現在海外在住のため日本の良さがある
	素晴らしい所だと思う。
	もっとさびしい所だと想像したが、開放的で明るい感じ。お魚楽しみ。
	もっと自然が残っていると思っていた。開発され尽くされているようで残念
	。がその反面道路は良かった。
	雄大な自然の中を走ってきて感激です。最北端の地…一度来てみた
	かったので満足です。
	予想どおりの最北端。風を楽しみました。
	良かった。
	林蔵がっこい。

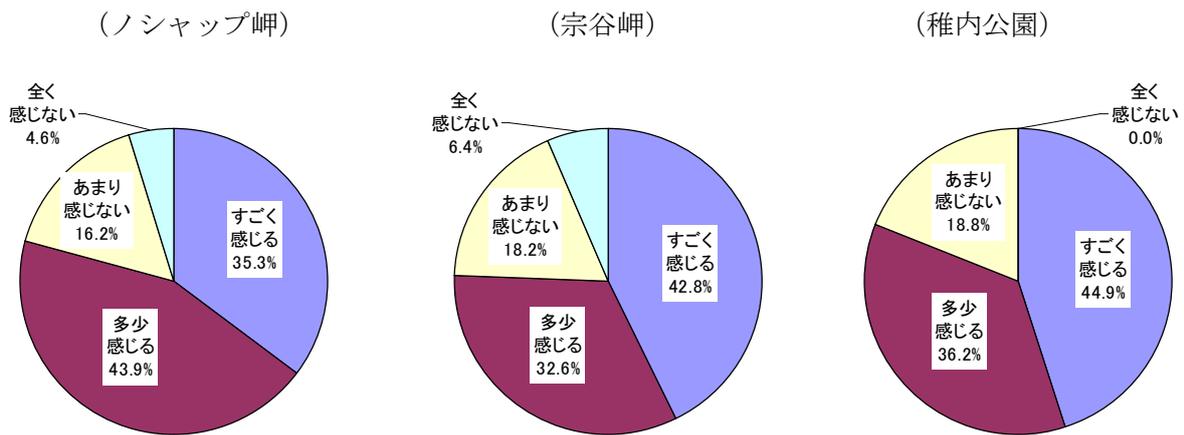
8) 観光地周辺の観光開発・施設・店舗等に対する評価

・自然や景色の演出効果について

「自然や景色のイメージを壊さない演出がされている」と感じるかどうかについて調査ポイント別にみると、「すごく感じる」及び「多少感じる」の割合はいずれのポイントも評価は高くなっているものの、「あまり感じない」あるいは「全く感じない」といった否定評価は、宗谷岬で比較的高くなっている。

自然や景色の演出に対する評価

設問：「自然や景色のイメージを壊さない演出がされている」と感じるかどうか

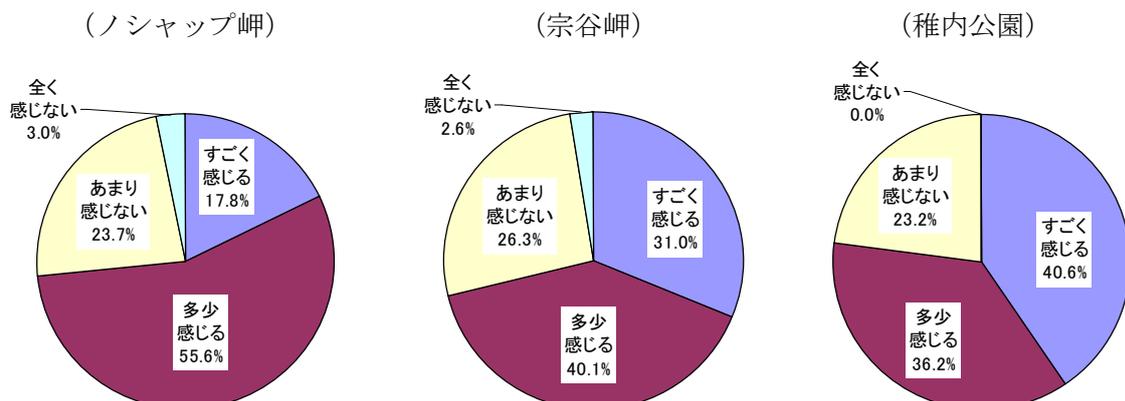


・植物や自然物の名称や説明について

「植物や自然物の名前や説明が丁寧に紹介されている」と感じたかどうかについての評価をみると、稚内公園では「すごく感じる」との回答が4割と高いものの、ノシャップ岬では低くなっており、「あまり感じない」あるいは「全く感じない」といった否定評価もノシャップ岬や宗谷岬で比較的高くなっている。これは、稚内公園では花や樹木を植栽し公園を演出していることに対し、岬からの景観が観光資源となっているノシャップ岬や宗谷岬との違いがでているものと考えられる。

植物や自然物の名称や説明に対する評価

設問：「植物や自然物の名前や説明が丁寧に紹介されている」と感じたかどうか



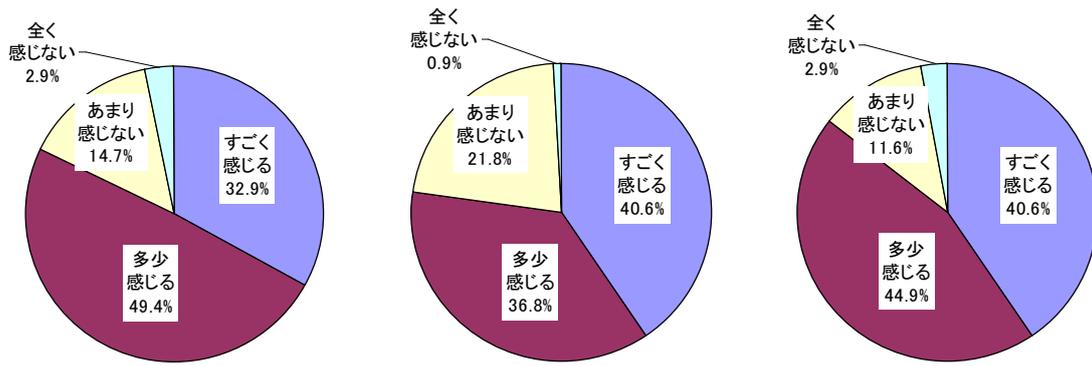
- ・地域が良い観光を提供しようとしている配慮について

「地域が良い観光を提供しようとしている配慮が感じ取れる」と感じたかどうかについてみると、総じて稚内公園は、すごくあるいは多少「感じる」という回答割合が高く、全くあるいはあまり「感じない」とする否定評価の割合が低いなど、比較的评价が高くなっている。

一方、宗谷岬は、「すごく感じる」という評価の割合が高いものの、全くあるいはあまり「感じない」とする否定評価の割合も高くなっている。

地域の観光に対する配慮に関する評価

設問：「地域が良い観光を提供しようとしている配慮が感じ取れる」と感じたかどうか
(ノシャップ岬) (宗谷岬) (稚内公園)

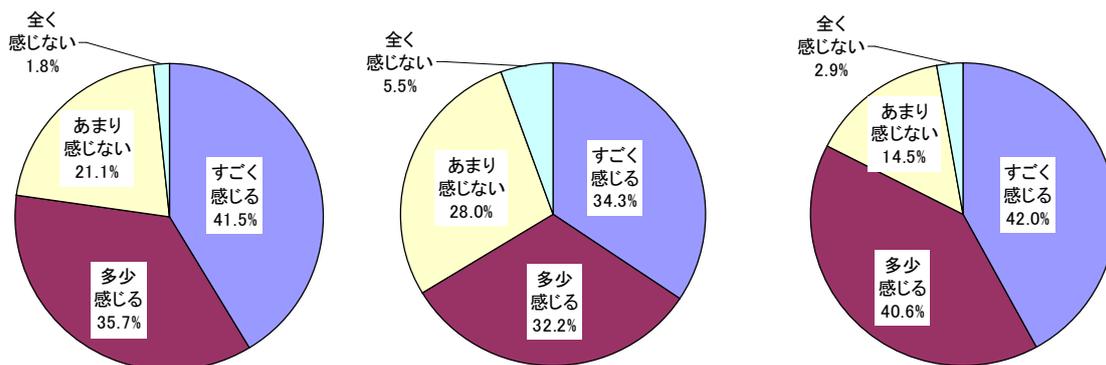


- ・利益主義の観光地となっているかどうか

「もうけ主義の観光に毒されていない」と感じたかどうかについてみると、全くあるいはあまり「感じない」とする否定評価の割合は、宗谷岬が最も高く、ついでノシャップ岬となっており、稚内公園は比較的评价が高い結果となっている。

利益主義に対する評価

設問：「もうけ主義の観光に毒されていない」と感じたかどうか
(ノシャップ岬) (宗谷岬) (稚内公園)



・観光地周辺の観光開発・施設・店舗等に対する評価のまとめ

本設問は、各観光ポイントの周辺の景観や土産店等の建物、あるいは音響等の演出など、その観光ポイントと調和ある演出や整備が行われているかどうかを観光客に評価してもらったものである。1)の設問は、自然や景観を損なうような建物等の構造物や演出がないかどうか、2)は、稚内の観光資源の主テーマである自然や景観を観光客に良く知ってもらうような工夫がされているかどうか、3)は、土産店や飲食店等の対応を含め、細かい演出や心配りなど地域が観光客に対して良い観光地を提供しようとしていると感じたかどうか、4)は、特に土産店、飲食店、宿泊施設などの建物の概観やサービスなど、営利主義が目立ちすぎているかどうか、をそれぞれ評価してもらったものである。

その結果、全体としては、評価は高くなっているものの、今後の観光振興を図っていく上では、特に否定評価がどのような内容で高くなっているかに着目することが必要である。

このような観点から、1)から 4)までの結果を総括すると、観光ポイント別では、稚内公園の評価が総じて高く、宗谷岬の評価が比較的低いという結果となっている。

また、否定評価が高くなっている内容についてみると、「植物や自然物の名前や説明」、「もうけ主義の観光」に対しては、否定的感想をもっている観光客の割合が比較的高い状況となっている。

9) 今回の訪問観光ポイント

本設問では、今回訪れた（訪れる予定の）稚内市内の観光ポイントを思い浮かんだ箇所をヒアリングしている。後述の⑰立ち寄りポイントは、立ち寄った箇所すべてを聞いていることに対し、ここで得られた回答は、印象に残っている観光ポイントとして捉えることができる。

回答のあった観光ポイントとしては、宗谷岬、ノシャップ岬、稚内公園は当然多くなっているが、これら以外で立ち寄った観光ポイントは、以下のとおりである。

今回の訪問観光ポイント（宗谷岬、ノシャップ岬、稚内公園以外のポイント）

北防波堤ドーム、副港市場、水族館、青少年科学館、宗谷丘陵、松坂大輔スタジアム、稚内温泉（童夢）、太陽光発電設備、メグマ湿原、稚内みなと南極まつり、間宮林蔵展、大沼、オロロンライン

10) 稚内、道北でイメージされるもの

稚内、道北から思い浮かぶ「もの」（地名、イメージ、食べ物等）についてみると、「最北端」、「ウニ」、「宗谷岬」、「カニ」、「海鮮物」が、比較的多くあげら

れている。このほか、「たこしゃぶ」、「利尻・礼文、利尻富士」などが多い。また、イメージとしては、「寒い」、「広い」、「寂しい」などがあげられている。

これを道内、道外客別、年齢階層別にみると、特に道外客と道内客、さらには、年齢階層別等での大きな違いはみられないが、道内客では、「コーヒー」、「天然ガス」など、地域事情に関する知識がなければ思い浮かばない「もの」等もあげられている。

稚内、道北でイメージされるもの

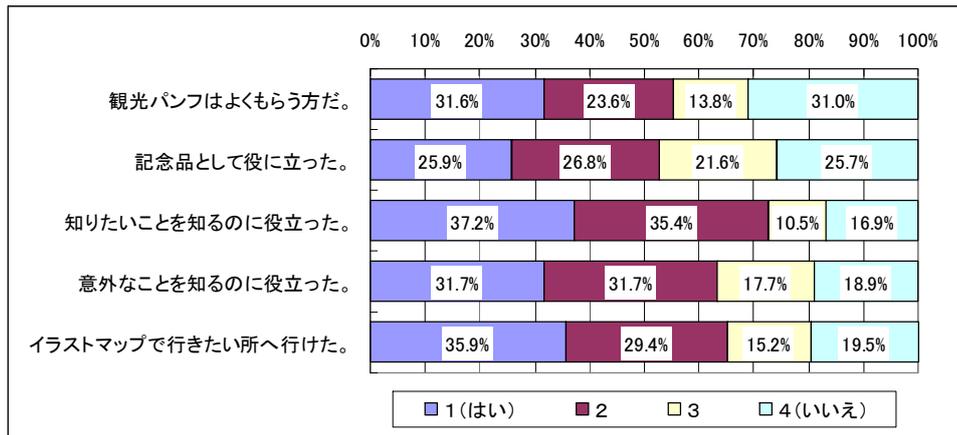
	道外客	道内客
10歳代	宗谷岬(5)、海鮮(5)、自然(3)、最北端(3)、海(2)、景色、カニ、ウニ、イクラ	カニ(5)、ウニ、ホタテ、最北端
20歳代	宗谷岬(12)、ウニ(8)、最北端(7)、たこしゃぶ(2)、海、魚、寒い、雪、風車、花	最北端(15)、宗谷岬(8)、ウニ(7)、海鮮(5)、サハリン(3)、海(3)、寒い(3)、イクラ(3)、カニ(2)、タコ(2)、直線、アザラシ、オオナゴ、ホタテ、ノシャップ岬、風車
30歳代	最北端(28)、ウニ(23)、海鮮物(8)、宗谷岬(5)、自然(5)、カニ(5)、利尻・礼文(4)、ホタテ(3)、タコ(3)、サハリン(2)、オロロンライン(2)、流水(2)、安い魚、原野、厳しい冬の生活、間宮林蔵、雪、海、食べ物	ウニ(12)、海鮮物(11)、たこしゃぶ(10)、宗谷岬(6)、最北端(5)、カニ(5)、寒い(4)、利尻富士(2)、風車、ロシア、ネオスリミ、流水、間宮林蔵、サハリン、コーヒー、宗谷牛
40歳代	最北端(15)、ウニ(14)、利尻礼文・利尻富士(8)、宗谷岬(7)、北(6)、海鮮物(6)、寒い(4)、カニ(3)、海(2)、観光、サハリン、ホタテ、大地、広さ、自然、牛乳	最北端(8)、カニ(8)、ウニ(7)、海鮮物(7)、たこしゃぶ(5)、宗谷岬(4)、ホタテ(4)、利尻富士(3)、北、昆布、サハリン、塩ラーメン、食、北方記念館、タロージロー、テレビ
50歳代	最北端(14)、ウニ(12)、自然(8)、海産物(8)、宗谷岬(7)、昆布(5)、利尻礼文(5)、じゃがいも(3)、たこしゃぶ(3)、ホタテ(3)、広い(2)、寒い、寂しい、歌、一直線の道路、最北の静かな街、船、吹雪、海、流水	最北端(10)、カニ(9)、ウニ(9)、たこしゃぶ(6)、ホタテ(4)、寒い(4)、流水(4)、利尻富士(3)、宗谷岬、天然ガス、とうきび、はまなす、海鮮物、暗い、きれい、魚、サハリン
60歳代以上	最北端(13)、ウニ(9)、大地(3)、イクラ、海、自衛隊基地、氷雪の門、利尻礼文、氷、国境の街、寂しい、寒い、湿原、じゃがいも、波、冬、間宮林蔵、北	ウニ(8)、最北端(6)、宗谷岬(5)、食べ物(3)、カニ(2)、海、利尻、自然

11) 稚内の観光パンフレットについて

今回の回答者は、概ね観光地において地元のパンフレットをもらうとする割合が、半数以上となっている。

稚内市内で配布されているパンフレットについては、旅行の記念品として役立ったとする観光客の割合は、55.2%、知りたいことを知るのに役立ったとする観光客の割合は 72.6%、意外なことを知るのに役立ったとする観光客の割合は 63.4%、イラストマップで行きたいところへ行けたとする観光客の割合は 65.3%となっている。

稚内の観光パンフレットの活用状況
(全体)

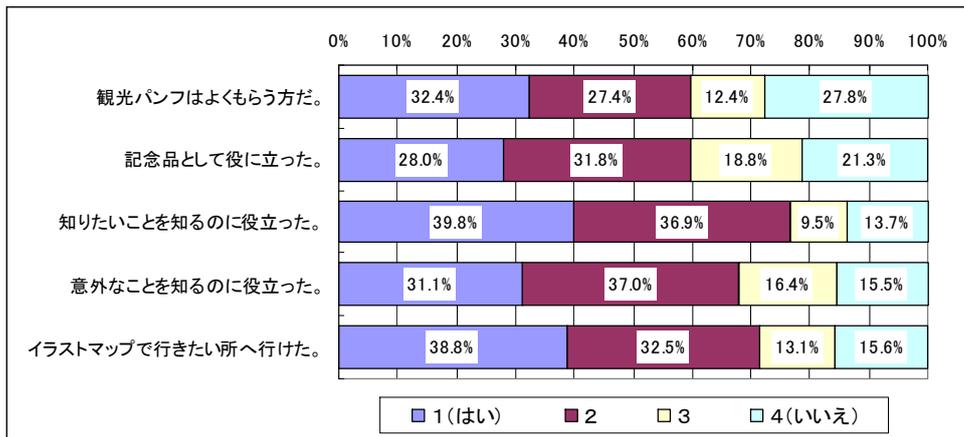


この評価について、稚内を訪れた回数別にみると、「初めて」訪れた観光客ほどパンフレットに対する評価は高い傾向がみられる。

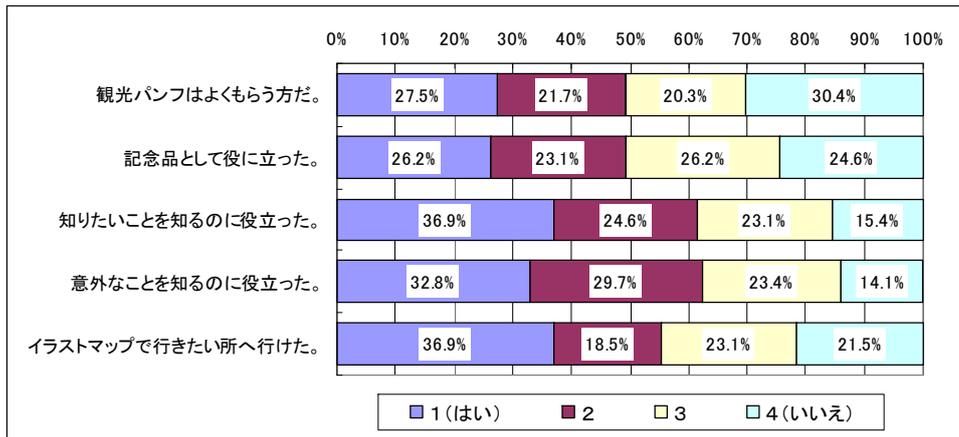
特に、イラストマップで行きたいところへ行けたとする観光客の割合は、稚内を訪れた回数が多いほど、評価が低くなっている。これは、訪問回数を重ねるほど、立ち寄る箇所が増えることと、パンフレットをほとんど利用しないでも目的地に行けるといった要因が考えられる。

旅行回数別観光パンフレットの活用状況

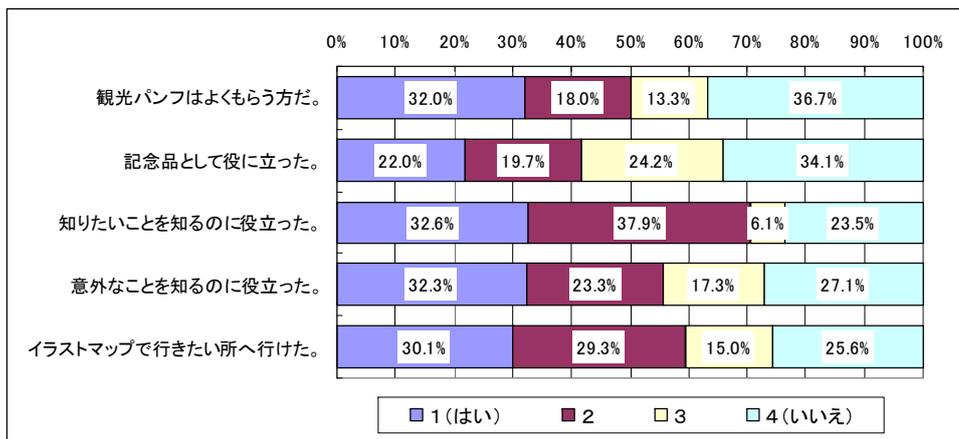
(初めて)



(2回目)



(3回以上)



12) 役立ったパンフレットについて

旅行時に所持しているパンフレットのうち、特に役立ったものを教えてもらった結果は以下のとおりである。

役立ったパンフレット

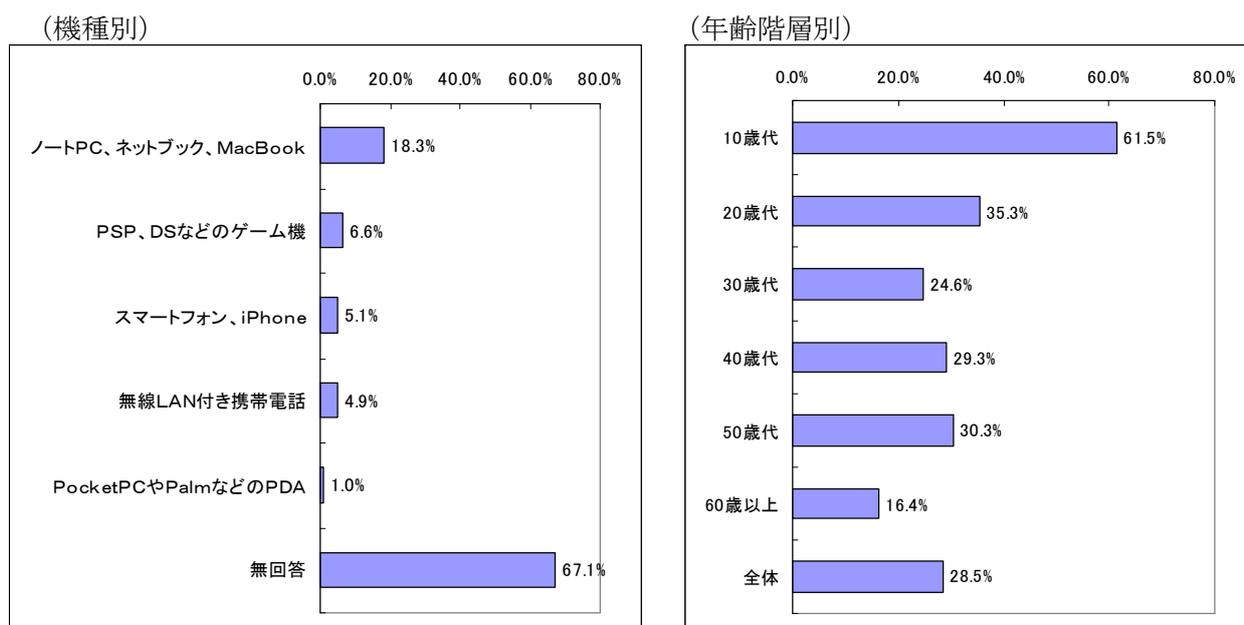
タイトル	発行者	役立ったところ
彩北そうや MAP	宗谷観光連盟・北海道観光振興機構	
わからない	稚内市建設産業部水産商工観光課	
最北美味 稚内	稚内市建設産業部水産商工観光課	コンパクトで見やすい
稚内観光ガイドブック	稚内市建設産業部水産商工観光課	サイズが良い。地元情報が詳しくわかりやすい。
じゃらん	リクルート	いろんなものが載っている。ガイドブックに載っていない詳しい説明
地図	レンタカー会社ほか	行きたい所に行けた。
駅周辺マップ	—	食事処の記載があった

13) 無線 LAN を使用できる機器の携帯状況

本設問は、今後の稚内の観光振興において情報ツールの整備方法として公共無線 LAN が重要と位置づけていることから、本システムに対する観光客の意向を把握するために設定した設問である。

今回の旅行で無線 LAN が使用可能な機器を持参している観光客の割合は、全体で 28.5% となっており、機種別では「ノート PC、ネットブック、Mac book」が最も多く、年齢階層別では、10 歳代が約 6 割と高く、20 歳代から 50 歳代までは概ね 3 割程度となっている。

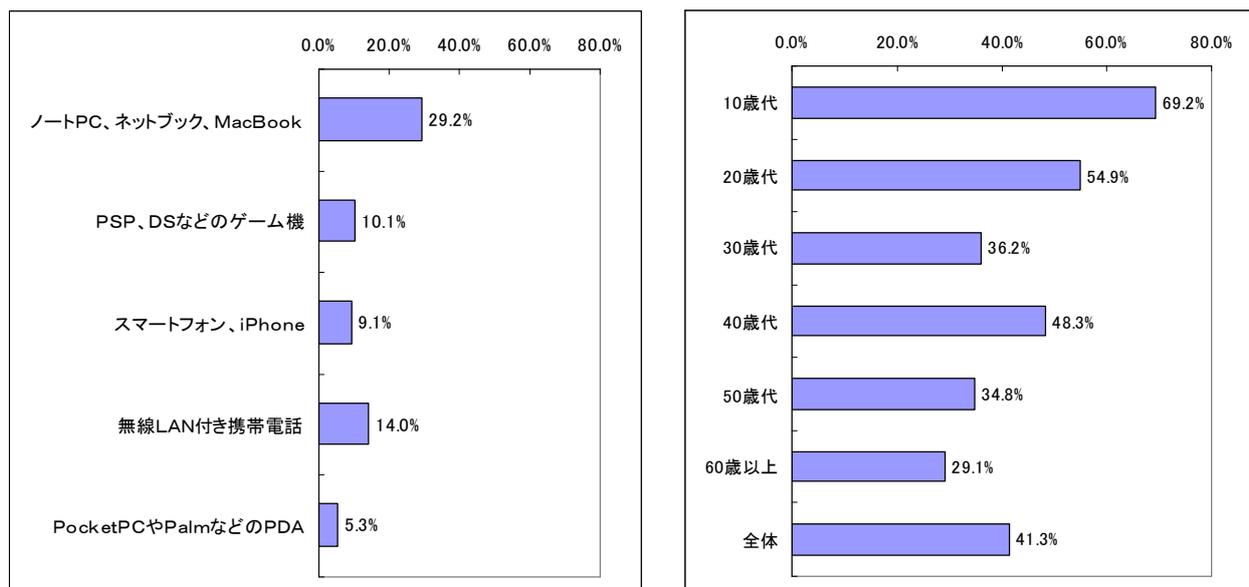
無線 LAN を使用できる機器の携帯状況



14) 無線 LAN が簡単に利用できる環境が整備された場合の機器の携帯意向

無線 LAN が無料で簡単に利用できる環境が整備された場合の機器の携帯意向についてみると、全体で 41.3% の観光客が持参するとしており、機種別では「ノート PC、ネットブック、Mac book」が最も多く、ついで「無線 LAN 付き携帯電話」となっている。年齢階層別でみると、10 歳代が 7 割近くに増加しているほか、20 歳代では 5 割以上の観光客が携帯意向をもっているという結果となっている。

無線 LAN が簡単に利用できる環境が整備された場合の機器の携帯意向
(機種別) (年齢階層別)

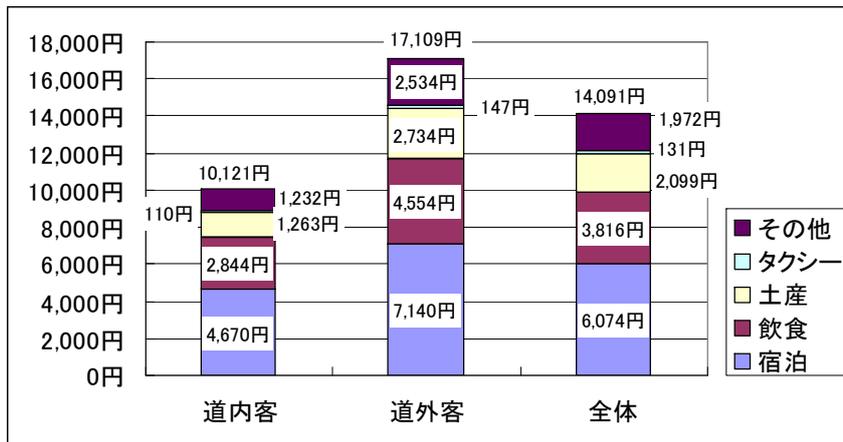


15) 稚内市内での消費額

稚内を訪れた観光客の稚内市内での一人当たり平均消費額についてみると、道内客が 10,121 円、道外客が 17,109 円であり、道外客の方が大きく、全体では 14,091 円であった。

消費項目別にみると、宿泊費が最も多く、ついで飲食費、土産代となっている。

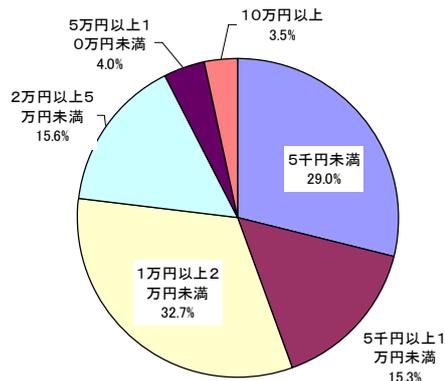
稚内市内における観光客一人当たり平均消費額



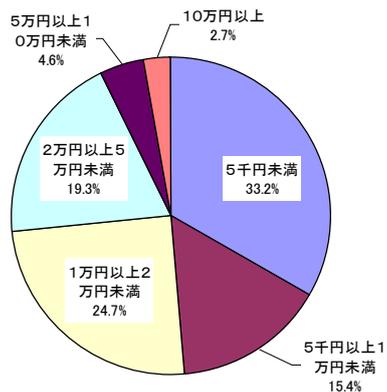
また、道外客及び道内客とも総消費額が「5千円未満」とする回答が最も多く、ついで、「1万円以上、2万円未満」となっている。これについて多いのが、道外客では「2万円以上5万円未満」であることに對し、道内客では「5千円以上1万円未満」となっている。

稚内市内での消費額

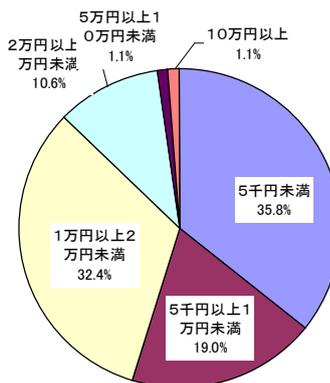
(全体:n=438 (無回答を除く))



(道外客 : n=259 (無回答を除く))



(道内客 : n=179 (無回答を除く))



稚内市での観光消費額の多少については、評価が難しいものの例えば、函館市が平成 19 年度に実施した観光アンケート調査の結果と比較すると、函館市と稚内市では、都市規模等からみて単純な比較はできないが、特に土産物での格差が大きい状況となっていることから、土産物等の PR などを積極的に推進するなど観光客の消費を促すための取組みが重要と考えられる。

函館市における観光客一人当たり平均消費額

	宿泊客 (円)	日帰り客 (円)
宿泊費	15,800	—
飲食費	8,165	3,711
土産代	9,900	4,993
その他	4,551	2,402
合計	38,416	11,106

資料：「平成 19 年度観光アンケート調査の結果」函館市、(社)函館国際観光コンベンション協会

16) 稚内観光全般に対する意見等

稚内を訪れた観光客に対して、稚内観光に対する意見、要望等について伺っている。意見や要望として最も多かったのは「今のままでよい」という内容のものであった。手付かずの観光地を維持してほしいという意見が多かった。一方で不満足意見等も多く寄せられており、特に多かったのは看板や案内板、パンフレット等の「PR・情報宣伝に関するもの」、「案内標識などに関するもの」であり、看板の内容や案内板の数に関するもの、あるいは WEB 上の情報内容、特産品に関する情報などの不足を指摘する意見が比較的多かった。

また、稚内の見所の少なさや情報に対する不満足意見もみられている。

稚内観光に対する意見等の対象等

区分		意見数
総意見数		224
ハード	観光施設に対するもの	13
	宿泊施設に対するもの	8
	アクセスに関するもの	15
	案内標識などに関するもの	16
	その他施設などに関するもの	10
ソフト	PR・情宣に関するもの	25
	環境(ゴミ、騒音など)に関するもの	12
	おもてなし(食べ物、応対など)に関するもの	21
	その他	21
その他	今のままでよいとするもの	72
	その他	76

※項目別に重複カウントのため、合計は項目別の計と一致しない

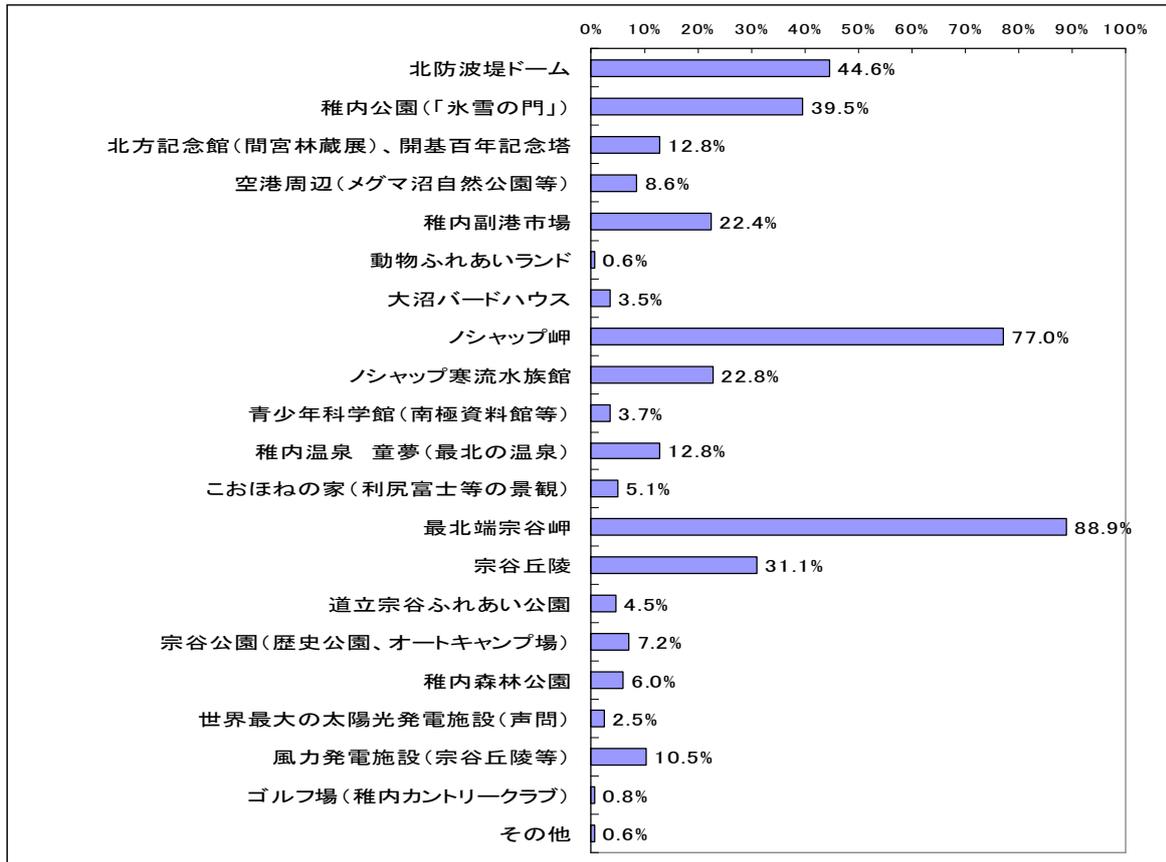
主な不満足意見

- ・特産品を大々的にアピールして集客してもよい。特徴を前面に（押し出すとよい）。
- ・余計な音はいらない。静かな方がよい。
- ・グルメ関係のタウンマップが欲しい。
- ・看板（標識）を詳しくして欲しい。はっきりとした案内板が欲しい。場所を探すのが大変。
- ・案内板が足りない。R40を重点的に港の道路、市内にも設置して欲しい。
- ・次の場所へ移動する時、道に迷うことがあったので、（訪れた場所で次に廻れる）近くのお勧めの観光スポットを案内してもらえると廻りやすいと思った。
- ・町全体が寂しい雰囲気にならないよう工夫を。
- ・見どころをアピールして欲しい。
- ・ライダーハウスを増やして欲しい。
- ・ガイドブックに見どころをたくさん載せて欲しい。
- ・もう少し簡単に稚内の事を詳しく知ることができるようになって欲しい。
- ・最北の地の花の名所を専門に扱った花パンフレットが欲しい。
- ・今回は宗谷岬だけだったが、それ以外にも「これは！」というものが欲しい。
- ・立ち寄り施設がないため島に（直接行く）稚内に何か逗留するには見所がないと思う。
- ・道の駅を作って欲しい。
- ・稚内みなと南極まつりは素晴らしかった。ただ、WEB上にほとんど情報がなく事前に詳細を知りたかった。
- ・あまり壊した形にして欲しくない。ネットの情報は充実した方がよいが、ハード部の変化は望まない。
- ・無線LANの情報提供はFREESPOT準拠を希望。
- ・欲しいと思えるお土産がない。
- ・宗谷岬にはとりにあえず来るが稚内には魅力がない。
- ・観光開発、商業開発は場所を制限し全体の自然保護に努めて欲しい。
- ・観光地としての整備は必要だが景観を壊さないように配慮されたい。

17) 訪問場所

稚内市内の主要観光ポイントを選択肢に設定し、そのうちどこに立ち寄ったかについて聞いたところ、宗谷岬、ノシャップ岬ではほぼ8割から9割の観光客が訪れている。その他では、北防波堤ドーム、稚内公園、宗谷丘陵に3割から4割、ノシャップ寒流水族館、副港市場に2割程度の観光客が訪れているという結果となった。

立ち寄り場所



資料2. ワークショップの意見

	項目	具体的意見
稚内の現状について	稚内のイメージについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高いイメージ（うに、かに、飛行機） ・ 稚内といえば〇〇〇となるように ・ 勝手に思い込んでいる「遠い」というイメージ ・ 旭川、札幌などの大都市から遠い ・ 遠い、運賃が高いというイメージ ・ 移動に時間がかかる ・ 寒い、暗い、風が強い ・ 周辺に街がない ・ 利尻昆布 ・ なにもないというイメージ ・ 海が冷たい ・ 風情 ・ 日本人にとって稚内が外国 ・ いなか ・ 女性向けのイメージ
	稚内観光の課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来る前は行ってみたい観光地の上位なのに、来た後は二度と行きたくないとなる原因を考える ・ 朝市がない ・ あそぶ場所がない ・ 情報が少ないため、いざ稚内に来てもどこへ観光に行っていかわからない ・ 情報がわかりにくい ・ サインで外国語が増えてきているが、施設自体の利便性が悪い ・ 情報がない ・ どんなことをしているのか情報発信がない ・ ネットでの広告不足 ・ 目玉の温泉がない ・ 楽しむポイントが地味（年配者向けが多い） ・ 稚内のイメージをどこに持っていか ・ 稚内の昔ながらの味があるのか ・ 「食」メニューがかたよっている ・ 広告など宣伝がへた ・ 特産品として昆布等の海産物が有名だが、宗谷の土産物は印象が弱い ・ 看板、案内が機能していない ・ 地場なのに海産物が高い ・ 観光できるところは、スポットばかりでエリアがない
交通について	稚内までの交通アクセスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスの時刻表を観光客にもわかりやすく ・ アクセスが悪い（札幌→稚内） ・ 札幌→稚内を4時間以内で移動できるように ・ 日本縦断JRパス（稚内発もしくは着 29,800円程度） ・ AIRが欠航時のJRやバスとのリンク ・ エアーの席がとりづらい ・ 飛行機の欠航、フェリーの欠航、道路封鎖 ・ 交通アクセスが課題 ・ 交通アクセスの充実 ・ リゾート列車の運行 ・ SLの運行 ・ 東京便の搭乗率保証 ・ 航空運賃が高い。低価格化 ・ フェリーターミナルのバリアフリー化（現状に疑問） ・ 各交通機関の接続をスムーズに
	稚内での交通について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稚内に到着してからの交通が不便 ・ 拠点を決めてノシャップ周り、宗谷岬周りの交通を

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人客に対するホテルからフェリーターミナル間の送迎を ・ 観光客が使いやすいバスを ・ 観光地への2次交通の充実 ・ 100円で乗れる循環バス ・ 1日フリーパス券（バス、タクシー） ・ 各交通機関共通の1日券等の発売（不足額を市が助成） ・ 各ポイントに着いてから徒歩、カート、自転車、バギーで回れるように ・ タクシー観光助成を ・ 路線バスの1日乗り放題 ・ 観光タクシーの充実（定額料金で安く） ・ 路線バスの充実 ・ タクシーの1日貸しきり料金定額 ・ レンタカーの料金の低減 ・ タクシーの観光価格の値下げ ・ ノシャップコース、宗谷岬コースなどに自由に乗れるバス、タクシー（相乗り） ・ 空港からホテルまでのシャトルバス、タクシー、レンタカー利用体制の整備 ・ 観光タクシーの運行 ・ 巡回バスの運行 ・ ヘリコプターの活用 ・ 観光スポットだけを回るバス（20分きざみ） ・ 時間帯別観光コース（朝の部、昼の部、夜の部） ・ 団体旅行客はバスでの移動中は退屈している ・ コミュニティバスで二次交通の充実を ・ セグウェイ特区 ・ 相乗りタクシーを ・ トロリー（循環バス） ・ GPSでレンタカー観光 ・ カネク沢の水をペットボトルで売り出す（ラベルに伝説を記載） ・ 黒曜石の製品、おみやげをつくる ・ 福沢牧場（福沢諭吉が経営）の百万円バター ・ スイーツの開発 ・ 稚内限定スイーツをつくる ・ 稚内のおかし ・ ホッケ詰め放題100円、かに詰め放題1000円などの催しもの ・ 稚内オリジナルのお土産（特に若い人向けの物）
<p>今後の改善、整備について</p>	<p>施設整備について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光拠点施設の整備 ・ 大きなイベント広場、公園を街の中心部におく。イベントの統一 ・ コンパクトな観光施設の集約 ・ 気候、天候に左右されない施設や体験 ・ 年間とおして使用できる観光スポット ・ 百年記念館のレストラン化 ・ 稚内公園に花畑をつくる ・ 稚内公園の整備（花時計、カートで移動） ・ コンベンションホール ・ 稚内灯台を日本一の高さに ・ 日本一にこだわったものをたくさんつくる ・ 岩谷の鯨の見本 モニュメント ・ 通年利用可能な全天候施設 ・ 温泉施設 ・ 道の駅の整備（オロロンライン、オホーツクライン、国道40号） ・ フェリーターミナルの建替え ・ 国や道の補助金を積極的に利用する ・ 稚内そのものをテーマパークとして考えて整備する。公共事業、看板、行政のお金が入るものすべて ・ 利尻ー礼文ー稚内の海底トンネル ・ 稚内市内の景観に対する配慮が必要（電柱や看板等の規制）

<p>観光資源の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史：商売に持っていく食欲が必要 ・ 伝説を絵本にする（ネットで配信、看板・モニュメントの設置、ホテル客室におく） ・ 歴史と観光ポイントをからめてクイズ形式で観光ポイントを回れるようにする ・ 昔の窓ガラスと今の窓ガラスの違い（生活文化） ・ 秋田木材（かつての発電所）から太陽光発電のエネルギーを市内に送る。歴史は繰り返す ・ フランス人 ラ・ペルーズの寄港地としての証明（フランス料理「ラ・ペルーズ」など） ・ 稚内駅を旧稚内港駅、旧稚内本駅、旧稚内駅として保存 ・ 漁師のまかない料理 ・ B級グルメ ・ チャーメンをご当地グルメにする ・ 昔の稚内の料理（いもだんご、ウニだんご、ホッケちゃんちゃん焼き） ・ 水と昆布と鍋 ・ 生きているものを食べる ・ 団塊、高級層に旬の食材を使った食事の提供 ・ 旬の食材を出す ・ 山菜など山の食べ物に注目する ・ 地元の食べ方の押し ・ うまい食、語らいの空間 ・ 稚斗航路（岡田嘉子と杉本良吉） 赤い恋の逃避キャンペーンを（2人で稚内・サハリンの国境を越えるとむすばれる） ・ 最北端駅を ・ 一店一品名物運動 ・ 歩いて巡る街 ・ 散策できるところを ・ 待ち歩きの充実 ・ 時間をつぶせる感じの空間がほしい ・ 海、利尻富士 ・ 電柱等の配慮 ・ 旧稚内駅（北防波堤ドーム） ・ 歴史・文化探索コース
<p>独自観光メニューの創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな夜 ・ ヘルスツーリズムなど ・ エコ ・ ゴルフ巡りツアー（都会が暑い時期） ・ 釣りツアー ・ 時間のかかる体験 ・ 海に入る ・ 寂しい北国の生活を体験させる修学旅行 ・ 吹雪の遭難体験 ・ 耐寒訓練（19,800円） 自衛隊等 ・ アイヌの人と周る稚内ツアー ・ 夫婦の縁結び、ざんげ、反省するなら稚内 ・ ターゲット別のサービス ・ 子供を預かるシステム ・ 出張に来て良いと場所なら家族も連れてくる ・ 稚内のオプションツアーをつくる ・ 懸賞つきツアー ・ 道北地方温泉ラリー（スタートとゴールは稚内） ・ 稚内発のオプションツアーの充実 ・ ハワイ並み、あるいはそれ以上の着地型オプションのバリエーションの充実 ・ 稚内へ泊まり、利尻・礼文はオプションの旅 ・ 稚内へ泊まり、宗谷管内を観光（車で2時間程度） ・ 稚内発のオプションツアーの充実 ・ サハリン国境までフェリーで観光ツアー ・ 遊覧船

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性グループ向け、宿泊施設で女性向けプランの充実 ・ 雪上ドリフト 稚内市内にモノコグランプリ的ツアー ・ 修学旅行体験プラン（水産、農業） ・ 塚原光が体操の合宿をもってくると言っていた ・ 周氷河地形をヘリコプターで空からみる ・ たわいもない経験（流氷の上を走る） ・ スタンプラリー ・ 稚内らしい体験 ・ 風力、ソーラー、幌延原発のエコツアー ・ 女性グループ 母娘だけで楽しめる空間の充実（食、施設） ・ 地方の人たちが稚内のイベントに参加できるようにする ・ 受験生勉強ツアー ・ 稚内公園をスノーモービルで走る ・ ストープであったまる（当時の寒さを体験）（国産ストープ発祥の地稚内） ・ コーヒー世界大会（うまいコーヒー）（日本で最初にコーヒーが飲まれた場所稚内） ・ 北防波堤ドームでゼロヨンの大会 ・ 南極犬を鍛えた稚内公園で越冬訓練ツアー ・ 稚内の動物を見て歩く。探してポイントを集める ・ ロングランイベント ・ 稚内人間ドックツアー ・ 美容的な要素を活かしたツアー ・ 春夏秋冬携帯フォトコンテストの開催 ・ 南中ソーランを一緒に踊る ・ 稚内ー沖縄弾丸ツアー ・ 浜の母ちゃん料理教室 ・ 稚内の日本一をめぐるツアー ・ 稚内の詩 雰囲気の合うところで流す ・ 個人型施策と団体型施策をクロスフェードするように増減していく ・ あったらしいなを形にする ・ カジノ ・ 女性グループも楽しめる ・ ネオすりみVSオオナゴ ・ 食べ放題 ・ 飲み放題 ・ ドリンクラリー ・ ウニ食べ放題 1,000円 ・ 1分間イカとり放題（活イカ） ・ メガ海鮮丼 1,980円 ・ カニツアー 1泊2日 29,800円 ・ 新鮮鮭手作りツアー ・ ご当地料理、B級グルメ的な手軽な食べ物 ・ 稚内独自のテーマを創作 ・ 体験観光メニュー（農業、漁業） ・ 漁師との連携を ・ 農家との連携を ・ 民家に泊まる ・ じいちゃん、ばあちゃんホームステイ ・ 地元民の生活体験を ・ かれいを500枚釣ってもらう（イベント） ・ 漁師体験 ・ 農家で働いてもらう（体験） ・ ダッシュ村（日本テレビ系の番組の中で登場）のような場所をつくる ・ 利尻・礼文つな引き大会 ・ 化石型温泉 ・ 稚内～サハリン遠泳大会 ・ 百年記念塔でバンジー（稚内、日本のてっぺんのでっぺんからバンジー）
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競馬（かつて競馬が盛んだった） ・ 待ち歩き・散策コース ・ グルメ、土産品の創出 ・ 新たなイベント企画
観光情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稚内のポータルサイト。タイムリーな情報発信 ・ 観光地や景勝地にオンラインカメラを設置する ・ 何より看板を ・ 南極祭りなどイベント情報の発信強化 ・ 大都市圏にサテライトオフィスを設置する ・ フリークーポン雑誌をつくる ・ 釣り場のポイントを広く公表する ・ 釣り船情報の告知 ・ 稚内で泊まり釣りを（趣味を行える場所） ・ 2～3日かけてつくる料理体験 ・ 観光地の看板の充実 ・ ホームページの充実（ロードマップなど） ・ 各企業のホームページに1つ同じ稚内観光のページを貼り付ける ・ 動画で交通アクセスの説明を ・ データーベースの充実 ・ 観光地に案内板をつける ・ 観光地までの看板の充実 ・ ピクト表示 ・ 外国語標記の充実 ・ 看板の見直し（道順などわかりやすく、英語標記等外国語対応、地元情報の充実） ・ 情報システム（無線LANの整備、ホームページの充実（ロードマップ、企業情報等の充実）
広告・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京タワー、道頓堀、渋谷、新宿に稚内のPR看板を ・ メディアへの露出を増やす（ロケ地等） ・ 稚泊航路と稚斗航路でくりひろげられたスパイ事件を売り込む（映画化） ・ テレビ、映画の誘致 ・ テレビコマーシャルの活用 ・ テレビの活用 ・ 市民出演のドラマ（テレビやラジオ）やミュージカルの製作 ・ 大河ドラマ 間宮林蔵（NHKへ働きかけ） ・ ロケ地としてもらうべき ・ フィルムコミッションをつくる ・ 稚内を舞台とした映画をつくる ・ 広告費の増大（とにかくPRを） ・ まずは、ボストンレッドソックスの松坂選手のおばあちゃんと交渉して松坂選手を呼ぶ ・ 相撲の大鵬親方をふるさと大使に ・ 翼の王国（ANA機内誌）に載せる ・ 積極的なドラマ、映画、CMの誘致 ・ ボストンレッドソックスの松坂選手をふるさと大使に ・ 稚内出身の有名人を活用する ・ ゴルフ場のPRを ・ 冬の景観を配信 ・ 先進アイデアに活動費をつけるコンペティションを行う（マネーの虎のように） ・ 飛行機に出汁之介デザインを ・ 出汁之介日本1周PRツアー歩き ・ 稚内の発行物すべてに出汁之介を入れる ・ 稚内市のあちこちに出汁之介を置く ・ 銀座のクラブをまわって稚内名産物をおつまみにしてもらい高級品として扱う ・ 映画、本、写真などに関わっている人に積極的に稚内をとりあげてもらう ・ 女性だけの営業（エージェンツ周り） ・ 旅行会社への商品化へのお願い

		<ul style="list-style-type: none"> ロシア女性の営業マン 稚内の詩をまとめたCDを発売
	宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> 観光ホテルがない 野宿セット（レンタル） かまくらのホテルを各ホテルで用意 加賀屋のようなおもてなしができる観光ホテルを ライバルは都内のホテルでは（料金が首都圏並みに高い） ホテルのサービスの充実（価格が高いのに） 都会人向け老人ホームを（家族は3日くらい泊まる） おしゃれな宿、店を 女性グループ向けホテル（女性はメリキユーレホテルが好き） 2日目半額に 個人、家族向け、女性向け等 価格の見直し ホスピタリティの向上 コンベンション機能の活用
	ホスピタリティの向上	<ul style="list-style-type: none"> 行政からもっと市民に観光の大事さをPRすべき 市民がもっと外（旅行）に行き勉強すること 観光への熱意が必要 観光地としての市民意識が大事 旅行者は地元民とのふれあいを求めている 稚内市の産業に観光が？違うと思う人が多い 地元民の意識改革（観光振興） 稚内の人が稚内を嫌い そもそも稚内が観光地であることを知らない 稚内のいいところを市民一人ひとりが見つける 観光タクシーの選抜、教育訓練 笑顔の接客 タクシー運転手をランク分けする タクシードライバーが観光案内をする ハートフルなタクシー運転手 ハートフルな地元住民 市民が稚内を自慢できるように 記念日旅行への気配り 受け入れ施設が観光案内をする（添乗員なし） 納得のいくサービス（人とのふれあい、会話） 店主の気持ちを観光客へ（やさしい気遣い） 稚内のコンシェルジュデスク 少人数でも地元ガイドがつく 市内の観光業者とのオープンな対応 じいちゃん、ばあちゃんの語りべ ホテルはじめ旅行業界を対象にサービスの勉強会 先進地視察を活発に行う 学校教育に稚内観光を教える時間を設ける 稚内北星学園大学をうまく観光に活用する ぶらり的な店からのふれあい 市民、企業の地元意識の醸成 タクシー運転手の意識醸成
	観光マイスター制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 観光マイスター試験の無料化 観光マイスター有資格者への優遇策を設ける（減税や有資格者雇用促進手当など） 観光関連企業での普及（取得義務化） タクシー業界への普及（取得義務化）
推進体制について	観光推進主体	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会的な組織の株式化 観光協会の法人化 観光協会、市役所等の一体化

		<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんありすぎる実行委員会や推進委員会をひとつの組織に束ねる ・ 観光協会のホームページにレンタカー、バス、JRのホームページのリンク。予約も可能に ・ 観光施策専門のオンブズマンを設ける
	継続的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ばか者、若者、よそ者」が参加する意見交換会を定期的に行う ・ From Zeroの継続 ・ 業界等における勉強会 ・ 学校、市民向け稚内観光教育、啓発
	広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣市町村との連携を図る（稚内市としてオロロンラインから来てもらい、オホーツクラインで向かってもらう） ・ オロロンラインの見直し、連携強化 ・ オホーツクラインの見直し、連携強化